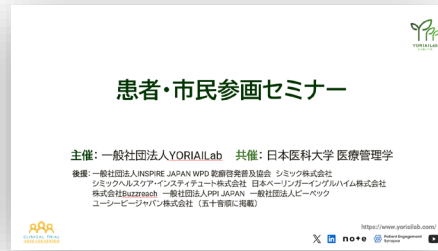


YORIALab News

11/8（金）患者市民参画セミナー開催：「患者市民参画の実現」

YORIALabメンバーと治験アンバサダー以外にも現地8名、オンライン27名がご参加下さいました。講演パートでは治験の各段階における企業の患者市民参画の取り組みをYORIALabが紹介し参加者と議論しました。さらにグループディスカッションでは現状の課題や新たな取り組みの可能性を話し合いました。



当日の様子はこちらから視聴可能です



臨時社員総会後の活動報告

2024年4月に法人設立後、初めての社員総会を開催いたしました。初年度でまだまだ会員人数は少ないですが、現地、Webから参加をいただき、今年度の活動・収支、来年度以降の活動予定について報告しております。来年度は、現在の活動をさらに加速させ、当法人の軸である治験アンバサダートレーニングの2期開催、定期的なセミナーの開催の他、国内での地域コミュニティとの連携に注力しながら、国際連携も視野に入れた活動を検討していきます。YORIALabだからこそ発信ができる、最新の情報を皆さまに発信していきますので、WebサイトやSNSでの発信をお楽しみに！！

YORIALab公式キャラクター爆誕！共に創り上げる共創の場

皆さんこんにちは。我々の活動をより身近に感じていただくために新たな仲間がYORIALabに加わりました。YORIALab公式キャラクター、ピッピーです。我々の活動は、参加者の皆様や患者さんたちと共に創り上げていくものになります。このキャラクターは、我々の活動を象徴する存在として、皆様に親しみやすい環境を作るべき、多くの場と一緒に参加させていただきます。こちらはYORIALabメンバーでのアイデア出しを行い、Xにて投票を行い決定した、皆で創り上げたデザイン、キャラクターになります。心から歓迎して迎え入れようと思います。今後ともYORIALabの活動を一緒に盛り上げていきましょう！

ピッピーです！



全国難病センター研究会研究大会 参加報告

9月27日と28日、全国難病センター研究会研究大会（全国難病センター研究会・一般社団法人日本難病・疾病団体協議会・特定非営利活動法人大阪難病連共催）に参加してきました。今年は「社会共創へつなぐ患者・市民参画の実現へ向けた取り組み」として、健康医療の公平性へ向け、治験アンバサダーとともに進める社会共創に何が期待できるのか、YORIALabがコミュニティ・ラボとして目指す活動とその展望をお話しさせていただきました。近年、医薬品開発における患者・市民参画（PPI）が盛んに議論される中、企業等による疾患団体との協働が着実な広がりを見せています。その一方で希少難病分野など地域レベルでの声が求められる場面でのPPIは極めて限られているのが現状です。『治験を身近に』を実現するためには地域医療・市民レベルでの「参画」が不可欠であることを草の根で考えるきっかけを得た機会でした。YORIALabでは治験アンバサダーのみなさんと共によりよい治療・ケアを創る社会インフラ整備での「市民参画」を実現する具体的な一歩を2025年踏み出します。

6カ月のインターンシップを終えて -小島ジェニカ-

広報：インターンシップに参加いただきありがとうございました。

短い期間でしたがYORIAILab活動に関して、小島さんならではの意見を頂いたり、資料作成に携わっていただいて、運営チームとしても良い時間を過ごせたと思います。

特に印象に残った活動はどのようなことでしたか？

小島：プレ模擬治験ワークショップです。これは患者さんが治験に参加することを想定した体験型ワークショップになります。

実際に参加してみると、自分が治験を受ける側に立つことがとても新鮮でした。

自分が患者で治験に参加すると考えた時、治験に関する資料の情報や説明の時間がこれで十分なのか、足りないことは無いのか等、色々気になりました。なので、実際の現場では説明の時間を十分にとって、公開できる情報はなるべく全て伝えた方が患者さんは安心できそうと感じました。

広報：実際に体験することで、治験参加者と治験依頼者、両方の立場が経験できたのですね。

小島：ワークショップは同じシチュエーションだったのですが、人によって意見がばらばらで驚きました。特に治験反対意見の理由を聞いてみて、自分は気づかなかった視点に着目したものもあり、とても勉強になりました。

また、治験薬の効果、副作用に関するだけでなく、治験参加者の今後の人生やその過ごし方、家族、友人の意見、様々な意見を聞くことが出来、興味深い時間を過ごすことが出来ました。

広報：小島さんには他にも治験アンバサダートレーニングや、YORIAILabの対面ミーティングにも参加いただきました。メンバーと交流していかがでしたか？

小島：治験アンバサダートレーニングでは受講者の熱量に驚かされました。

特にドラッグラグ・ロスについての質問が多く、治療の機会の損失防止は患者さんにとって大きな問題だと気づかされました。

YORIAILabの対面ミーティングは、話しやすい雰囲気でした、楽しかったです！

一緒に活動している方々の普段のお仕事や、医薬品開発に対する思いを聞いて、モチベーションが高まりました。お忙しい中集まってくださりありがとうございました！

広報：YORIAILabのインターンシップに参加いただきありがとうございました。今後の小島さんの活躍に期待しています。



Profile

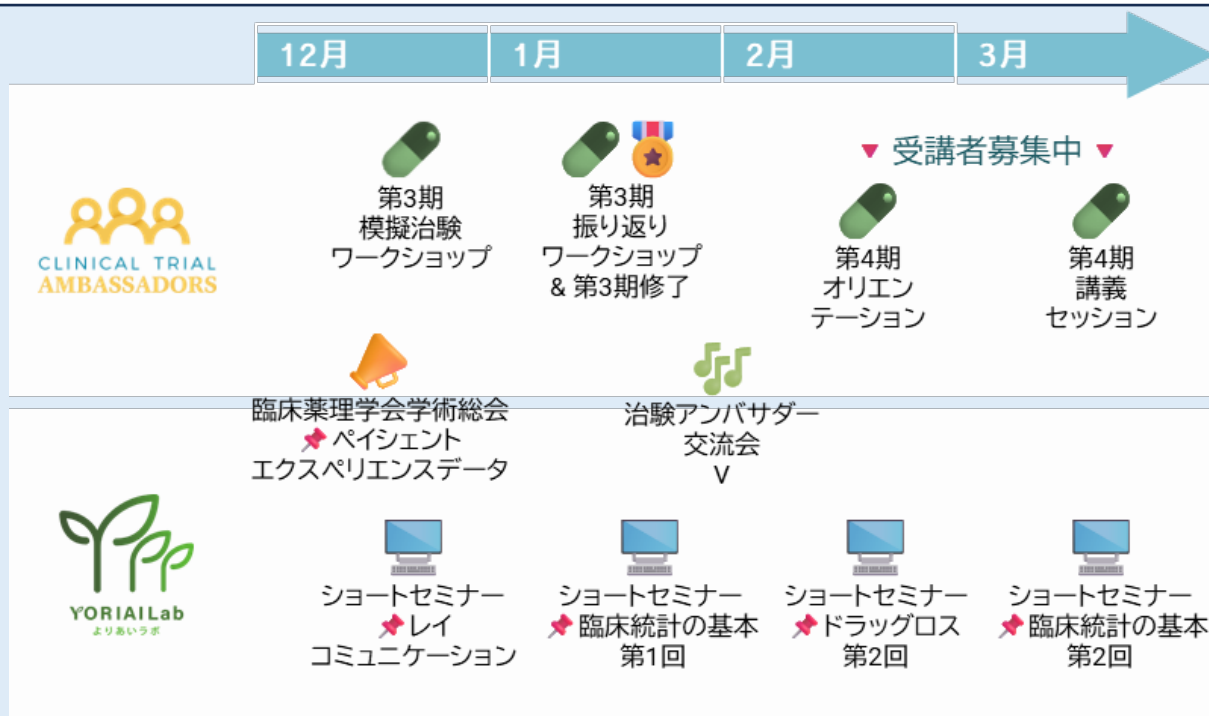
名前：小島ジェニカ

神奈川県出身。病院の治験部への実習で治験に興味を持つようになりました。今は国家試験の勉強と卒業研究を頑張っています。得意な科目は生物。趣味は読書、バレーボール観戦。



YORIAILab 今後のロードマップ

私たちのニュースレターでは、今後も皆様にとって魅力的なワークショップやコンテンツをお届けします。最新のトレンドや専門知識を学び、スキルを磨く絶好の機会をお見逃しなく。次回のワークショップや特別イベントの情報をいち早くお届けしますので、ぜひご期待ください！



一般社団法人YORIAILabへの協賛のお願い

より充実した事業運営を行うため、当法人の趣意にご賛同いただける企業・団体・個人からのご協賛をお願いしております。

申し込み方法

Webより必要事項をご確認のうえ、お申込みください。 <https://www.yoriailab.com/general-5-1>

会員特典

YORIAILabホームページへのバナー広告、当法人主催セミナー、勉強会への招待、患者・市民参画に関する無料相談、等

問い合わせ先 info@yoriailab.com 担当：大桃

